

松 明

(平成22年11月発行・隔月発行) 2010 vol.6

第3回 福島病院祭

実行委員長 (小児科医長) **金子 真利**

去る9月18日の土曜日、今回で3回目となる病院祭が行われました。例年のない猛暑のため、残暑厳しい中での開催となりましたが、幸いなことに3連休の初日ということもあり、病院関係者のみならず、市民の皆様方、親子連れでの参加と、多くの方々が当病院にご来場いただけたことを大変うれしく思っております。

1日限りの開催でしたが、午前の部から、たんぼぼ保育園の園児達のかわいらしいダンスにはじまり、須賀川



よさこい協会の皆様の迫力ある演技と、地域の方々に盛り上げていただきました。午後からは暑さを吹き飛ばすような看護学生さんたちの元気あふれるダンスや歌、最後は参加者全員での「輪になって踊ろう」とステージパフォーマンスも盛りだくさんでした。バザーや屋台、写真展もご来場の方の骨休みとしてご利用いただきました。そして、病院祭の本分ともいえる健康相談や病院見学も大盛況でした(師長様方、事務の方々、業者の方々、本当にお疲れ様でした)。何よりも熱中症や怪我等のトラブルもなく、無事終了することができたことは、実行委員長としてほっとしていることとさせていただきます。

とは言いながら、私自身は開会のあいさつだけを済まして、変な格好でふらふらと歩きまわり、暑くてひたすらお茶やジュースを飲んでいて、名ばかりの実行委員長ではございました。企画、広報、会場設営、司会進行、プログラム管理などなど、実行委員会の皆さまにはすべてをお任せしてしまいましたが、今回の盛況はひとえに実行委員会の方々の努力の賜物と思っており、改めてお礼を申し上げます。大変だったとは思いますが、地域の方々との参加交流も深まり、地域に根差した病院に向けて一歩前進できたのではないのでしょうか? 来年の第4回病院祭も、さらなる盛況を目指して頑張ってください。

本号のご案内

| | | | |
|------------------------------|---|-------------------------|----|
| ● 第3回 福島病院祭 | 1 | ● 看護学校だより 華翔祭を終えて | 7 |
| ● 職員紹介 | 2 | ● ナイチンゲール祭 | 8 |
| ● 看護部だより 救急車同乗体験研修に参加して | 3 | ● 7回生戴帽式 | 8 |
| ● リーダーシップ研修を終えて | 3 | ● 公開講座 | 9 |
| ● 新採用者6ヶ月研修を終えて | 4 | ● 雨の日の運動会 | 9 |
| ● 「医師と看護師のための勉強会に参加して」 | 4 | ● 健康プラザ 腰痛予防 | 10 |
| ● 「CPRとAED研修」を終えて | 5 | ● 「日本三大火祭り須賀川松明あかし」 | 10 |
| ● あなたのメンタルヘルス対策は大丈夫? | 5 | ● 地域連携室だより 登録医のご紹介 | 11 |
| ● 療育だより 第20回北海道東北地区重症心身障害研修会 | 6 | ● 職場紹介「ME室」 | 11 |
| ● ドライブした気分を味わいました。 | 7 | ● ソーシャルワーカーからちょっと耳よりなお話 | 12 |

納得の医療で地域や社会に貢献

病院理念

福島病院では「納得の医療」で地域や社会に貢献を理念として掲げ、職員一同、●人間として対等な患者さんの目線に立ち、●分かり易い説明を行い、同意を得た上で、●安全・安心で質の高い、患者さんやご家族を始め、地域社会の方々、勿論病院職員など誰にでも納得していただける医療の提供を常に心掛けております。

**小児科医長 石井 希代子** (いしい きよこ)

- 出身地：秋田県 ● 所属：小児科
- 趣味：家族と遊びに行くことです。
- コメント：福島病院のNICUには、以前1ヶ月だけ勤務させていただきました。今回はわかさ病棟で主に働かせていただいています。重症心身障害児者病棟で働くことは私の希望でした。入所者の皆様のQOLが少しでも上がるよう、微力ながら、御手伝いをしていきたいと思います。氏家先生にご指導いただきながら、頑張ります。よろしくお願いいたします。

**産婦人科医師 牛嶋 順子** (うしじま じゅんこ)

- 出身地：埼玉県 ● 所属：産婦人科
- 趣味：温泉旅館でのんびりすること
- コメント：10月より医局人事で赴任し、お世話になることになりました。ここでの環境とやり方に早く慣れて、楽しく仲良く仕事ができたらと思っています。よろしくお願いいたします。

**小児科医師 知識 美奈** (ちしき みな)

- 出身地：東京都 ● 所属：小児科
- 趣味：ドライブ、躰道、読書
- コメント：10月よりお世話になっております。わからないことだらけで周りの方々にご迷惑ばかりおかけしておりますが、ひとつでも多くのことを学び、大きく成長していきたいと思っています。よろしくご指導お願いいたします。

**産婦人科医師 大原 美希** (おおはら みき)

- 出身地：静岡県 ● 所属：産婦人科
- 趣味：旅行、買い物
- コメント：今年度4月に医大の産婦人科に入局し、10月から福島病院にお世話になることになりました。みなさまにはご迷惑をおかけすることも多々あるかと思いますが、精一杯がんばりますのでよろしくお願いいたします。

看護部だより

救急車同乗体験研修に参加して

手術室 副看護師長 天野 邦子

9月9日(休)の救急の日を含む週は救急医療週間です。今年は9月5日から11日までの7日間がその週間にあたり、普及啓発活動として毎年救急車同乗研修が開催されています。研修の目的は、「救急現場活動を理解し、医療機関と救急隊の連携を強化する」ことです。9月10日にその研修に参加し、消防業務及び救急活動について学ぶことができました。内容は、通信司令室等の見学、救急車内の資材設備や心肺蘇生法・AED取り扱いの説明、JPTEC（外傷病院前救護プログラム）について等、実践も交えたものでした。

救急同乗者体験では、吐血した方の家族から119番通報が入り、出場指令を受けてから医療機関に搬送するまでの救急活動について見学することができました。救急隊の方は、短時間で迅速に患者を観察し、必要な処置を行って医師への確かな情報を伝達していました。このような活動によって、その後の治療がスムーズにできるのだと、医療機関と救急隊の連携の重要性が再認識できました。

今回、須賀川消防署で貴重な体験をさせていただき、署長様始め救急隊の方々には心より感謝申し上げます。



看護部だより

リーダーシップ研修を終えて

第3わかくさ病棟 看護師長 菅原 久美子

今年度のリーダーシップ研修は、対象者が2名という少なさびしい状況で行われました。ところが、研修生が少ない分、より深い話し合いができ、活発な意見交換ができ、研修生にとって、日頃の看護を振り返る良い機会になったと思います。

研修生にはそれぞれ、リーダーシップの在り方について事前学習をしたうえで、病棟の問題解決に向けて、自分がどうリーダーシップを発揮してきたかをまとめて発表してもらいました。「役割モデル」「倫理的配慮」といった言葉の理解が難しかったことや、先輩方にどう働きかけていいのかわからなかったなど、悩んだことも話に出されました。その話し合いの中で、初めて自分の看護と倫理的配慮が結びついたという振り返りもありました。研修生の成長が感じられ、研修を企画した立場とすれば、うれしい限りです。普段の業務の中では、このように自

分の考えを大勢の前でまとめて発表したり、アドバイスをを受けたりという機会が少ないため、貴重な経験になったのではないのでしょうか。

研修生たちがこれを機会に、今後病棟でよりいっそうリーダーシップを発揮して、大いに飛躍してくれることを期待したいと思います。



看護部だより

新採用者6ヶ月研修を終えて

周産期母子医療センター新生児部門 看護師長 黒澤 みゆき

10月4日(月)に、新採用者6ヶ月研修として多重課題研修を行いました。

この研修は、4月に新採用となり約半年を迎えた新人看護師5名を対象に、時間切迫時の状況で、安全な看護を提供できる事を目的に開催しました。研修生達は、課題に出された事例をもとに自分たちはどう行動したらよいかを考えて、研修に臨みました。

研修はロールプレイ形式とし、実際に教育担当師長が患者役に扮し、研修生2人が看護師役となり、夜勤時に3人の患者様に同時に問題が生じた事を想定し、実演してもらいました。患者様の生命の安全を守り、他の患者様に対しても配慮をしながら、安全に看護が遂行できるにはどう行動したらよいか、自分達の考えられる最善の方法をグループワークで検討し、本番さながらの雰囲気の中で、真剣に取り組んでいました。

このような緊迫した場面でも優先度を冷静に判断し、

落ち着いて行動を取れるようになる為には、日頃から安全で確実な看護技術を、根拠をふまえて身に付けておく事が大切であると再認識していました。

研修生達が自分達の行動を振り返り、今後の看護に活かそうとする姿を見ることができ、今後の成長がとても楽しみな研修となりました。



看護部だより

「医師と看護師のための勉強会に参加して」

周産期母子医療センター新生児部門 看護師 吉田 恵理奈

10月17日(日)に「みんなで語ろうディベロップメンタルケア」というテーマのもと、第23回新生児医療連絡会が当院で開催され、県内外から新生児医療に携わる約80名の参加者が訪れました。発表演題は3題で、磐城共立病院からは看護師による「カンガルーケアへの取り組み」、竹田総合病院からは「NICUにおける理学療法士の関わり」について発表があり、当院NICUからは「ポジショニング」について前年度までの比較を交え、今年度の取り組みで得られた結果を発表しました。

今年度は発信者からの一方通行ではなく、テーブルを囲んでのディスカッションを行い、医師や看護師・理学療法士等の参加者による幅広い活発な意見交換ができました。このようなディスカッションをすることにより、それぞれの職種の高度な知識が共有でき、大変学びあるものになりました。

私はNICUに配属されて2年になりますが、ディベロップメンタルケアに対しての自分の知識の浅さを感じた半面、赤ちゃんにもっとできることはないか、改善できることはないか、と考えさせられました。また、これから取り組まなければならない課題も明確になり、次への意欲もわいてきました。福島県の新生児医療がますます発展し、赤ちゃんたちが健やかに成長できるように、今後も努力を続けていきたいと思っています。



新生児医療専門用語

- ディベロップメンタルケア
早く生まれた赤ちゃんや疾患を持った赤ちゃんの成長発達を助けるための環境を提供すること。
- カンガルーケア
赤ちゃんとお母さん・お父さんの肌が直接触れ合い包み込むように抱っこすること。親子の愛着形成、赤ちゃんのストレス軽減・発育や発達を促す、お母さんの母乳の分泌促進の効果がある。
- ポジショニング
早く生まれてきた赤ちゃんにポジショニング用品を使用し、胎内にいた時と同じような屈曲姿勢をとらせること。ストレス緩和や安静保持の効力がある。

「CPRとAED研修」を終えて

薬剤科 調剤主任 今泉 克明

10月6日(水)大研修室において、須賀川消防署の救急救命士による、「基本的心肺蘇生法（CPR）・自動体外式除細動器（AED）の使用法」に関する研修が実施されました。

研修では、倒れている人に出会った場面を想定し、意識確認、呼吸確認、その後の心臓マッサージ、人工呼吸及びAEDの使用と順を追って説明を受けました。その中で、周囲に居る方々に対し救急車を呼んでもらうことやAEDを持ってきてもらうといったことをお願いする際には、しっかりと「あなたお願いします。」と意思表示することが大切であること、また心臓マッサージを行う際には腕を曲げずに伸ばした状態で適度な力を加えて実施する必要があることなどの指導を受けました。さらに、AEDの適切な使用方法の指導を受けました。

一通り指導を受けた後、参加者一人一人が実際に人形を使用し、心臓マッサージ、人工呼吸さらにAEDを使

用しました。自分では、指導を受けた通りに実施できたと思いますが、実際に倒れている人に出会った際には、研修で学んだ通りに実施し救命できるようにしたいと思います。



あなたのメンタルヘルス対策は大丈夫？ ～心の健康寿命を延ばして自分らしく生きよう～

安全衛生委員会事務局（庶務班長） 鹿野 祐一

当安全衛生委員会では職員のメンタルヘルス対策の一環として、産業医である茂木積雄副院長に依頼し、去る10月13日(水)に「メンタルヘルス研修会」を開催いたしました。

メンタルヘルス対策としての研修会は当院では初めて開催したものであり、参加者も50名と多くの職員が出席し、反響の大きさが伺えました。

内容としては各職場でのメンタルヘルス対策、ストレスの原因、うつ病など多項目に渡りました。

茂木積雄副院長から仕事でのメンタルヘルス対策として、次の3か条を説明していただきました。

●仕事のストレス解消3か条

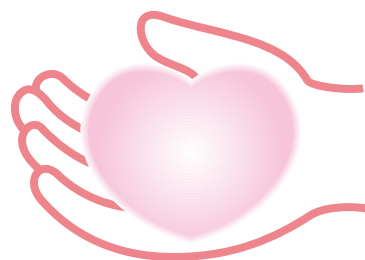
- ①他人が出来る仕事は他人に任せる。
- ②休日は仕事を忘れる。
- ③午前午後、一度は息を抜く。

●仕事のやり方3か条

- ①仕事は完璧にやってはいけない。
→知らず知らずのうちに視野が狭くなる。
- ②仕事に入れ込んではいけない。
→そのうち仕事をするのが嫌になるから。
- ③仕事はミスがあっても楽しい。
→トラブルが怖くないと思えるから。

ポイントとしては、「仕事はイヤにならない程度に頑張る。」のが正しい考えだそうです。

皆さんも是非実践してみてくださいはいかがでしょうか？



重症心身障害児（者）の医療と療育に関わる職員が研鑽を深め、重症心身障害児（者）の療育の向上に寄与する目的で、第20回北海道東北地区重症心身障害研修会が、9月25日（土）に郡山の「ビックパレットふくしま」にて開催されました。

今回の研修会は福島病院が事務局を担当し、北海道東北各地と東京からも参加を得て、総数290名の方々の参加を得ることができました。

研修会は、会長の氏家院長の開会の挨拶からはじまり、北海道東北地区では、重症心身障害児（者）病棟とNICUを運営する唯一の病院として、河原田勉周産期部長による「国立病院機構福島病院NICUと後方病床としての役割」と題した基調講演が行われ、引き続き宮城病院、あきた病院、花巻病院から計4題の研究発表がおこなわれました。

午後からは、第20回という節目の回でもあり、これまでと内容を若干変更して、東京都立東大和療育センター平山小児科医長をはじめ福島病院高橋看護師長、花巻病院平石療育指導室長、花巻病院渡邊保育士の4名のシンポジストによる「行動障害について」のシンポジウムが行われました。

全体討論は、釜石病院土肥院長の座長で、和やかな雰囲気ながら活発な討論が繰り広げられ、西多賀病院大村内科系診療部長による講評でまとめられました。最後に次期研修会担当施設の宮城病清野院長による閉会の挨拶で終了しました。

今回の研修会の進行では、大清水看護師長による名司会をはじめ、栄養管理室やリハビリの職員の方々による会場設営、遠方から車でこられる参加者のためにと、管理課長はじめ事務職の方々による駐車場誘導、その他多数の職員の方々の御協力のもと、無事開催する事ができました事を感謝申し上げます。

また、参加された皆さんと、来年の研修会で再びお会いできるのを楽しみにしております。



療育だより

ドライブした気分を味わいました。

療育指導室 保育士 小野寺 亜紀

今年度、バスハイキングに行けなかった方々を対象にした院内グループ活動が、10月に、2回に分けて行われました。

1回目は10月14日に、第1わかさ病棟のプレイルームで行われました。走っている車の中から撮影した映像を、大画面で見ながら揺れを体感しました。ボールプールを使用して、映像が右にカーブすると右にマットが動き、赤信号で止まると動きも止まる。本当にバスに乗っている気分でした。その後は、準備された「わかさ温泉」の足湯で温まりました。あまりの気持ちよさに眠ってしまう患者さんもありましたよ。

2回目は10月27日に療育訓練棟で行われました。室内で出かけた気分を味わってもらおうと、各地の紅葉の様子をスライド上映し、ホットパックや足湯パックで体を温めて体も心もリラックスしました。その後、須賀川を中心に活動しているオカリナサークル「シャラ」のメンバーお二人に来て頂き、「オカリナ演奏会」を行いました。秋の童謡などを中心に、落ち着いた演奏を聴かせて頂きました。ラストの曲は保育士と合同で「さんぽ」を合奏しました。ちょっとしたハプニングもありましたが、和やかな笑いを誘い終了となりました。



看護学校だより

華翔祭を終えて

看護学校 6回生 大原 舞

今年は天気にも恵まれ、昨年以上に多くの方に来校していただきました。ありがとうございました。模擬店では、焼きそばや山形風豚汁が大好評で多くの方から「おいしい」という言葉をいただきました。また、ステージでの発表は、毎日練習をしてきたバンド演奏、ダンスなどを行い予想以上の盛り上がりうれしく感じました。来年も、皆様に楽しんでいただけるような学校祭にしたいと思います。



ナイチンゲール祭の目的は、看護の原点を考える機会とし、看護観の育成をはかることです。今年は、1～3年生全員で、ナイチンゲールにまつわるクイズを通して、ナイチンゲール・看護の原点について考えました。ナイチンゲールについて初めて学ぶことや講義の復習などがあり、自分たちの看護観を見つめ直す良い機会となりました。また、他の学生の看護観や看護の先輩である先生方の看護への思いなどを聞くことができ、今後の自分たちの励みとなりました。今後も、思いやりの心を忘れずに看護を学んで生きたいと思います。



「天使とは、美しい花をまき散らすものではなく、
苦悩する者のために戦う者のことだ」

フローレンス・ナイチンゲール

入学して半年が経ちました。未熟な私たちが重みのあるナースキャップを戴くという実感がまだわかりません。

看護学校では、看護に関する基礎的な知識をはじめ、病態や疾患に関する専門分野を学んできました。また、先日行われたナイチンゲール祭では改めて自分自身の看護観というものを考えさせられ、看護の深さを知ることができました。



現在、戴帽式を迎えるにあたり、ナイチンゲール誓詞を唱え、看護への志を高めています。ナイチンゲールは常に人々の安全を第一とし、人々の幸福のためにその身を捧げました。そんなナイチンゲールを理想の看護師像として、より一層、頑張っていきたいと思います。

公開講座 家庭でできる インフルエンザ予防



日時 11月20日(土) 10:00~12:00

申し込み期間 11月19日(金) 17:00まで
(定員となり次第、受付を終了します)

場所 福島病院附属看護学校

申し込み先 福島病院附属看護学校
TEL(0248)75-2285
FAX(0248)75-2607

内容 1) インフルエンザについて
2) 予防方法について

※手洗い、手指消毒の実演もあります!

講師 福島病院附属看護学校教員

定員 30名
(どなたでもお気軽にお越しください)

参加費 無料



会場

皆さまの
参加を
お待ちしております

雨の日の運動会

たんぼぼ保育園 保護者会会長 小山 美紀子

9月18日(土)、たんぼぼ保育園の運動会が行われました。今年
は記録的な猛暑で、その影響が9月になっても続き、9月の初
めはいつになったら秋になるのかしら?と思いましたが、運動会
の当日は残念なことに朝から冷たい雨が降り、とても寒い一日と
なりました。

雨の場合は、療育棟で実施することになっていたのですが、たくさ
んの荷物を保育園から療育棟まで各家庭の車で大移動しました。
あまりの寒さに急遽、事務当直室やわかくさ病棟からファンヒー
ターをお借りしました。

慣れない場所での開催や、思いがけない寒さにも負けず、子供
たちは元気に入場し運動会が始まりました。毎日毎日練習したこ
とを一生懸命に披露してくれるその姿が、かわいらしくもありま
た、とても頼もしく感じられ、親としてジーンとせずにはいられ
ません。不思議なことに、よそのお子さんが一生懸命な姿を見て
も、これまたジーンとしてしまうのです。

青空の下で行う運動会がなによりですが、園庭よりも広い療育
棟での運動会もなかなか良かったです。0歳児から6歳児まで、
みんな頑張っていました。



腰痛の原因と腰痛体操の意味

腰痛の発生には様々な機序があります。多くは姿勢の悪さから起こる脊椎の変化と変形によるものです。

正しい姿勢が腰痛に良いとされる意味と簡単な運動を紹介します。

【 体の固さが腰痛を招く 】

人の体は右図のような骨アライメントになっています。

例えば、最近お腹が太ってきて腰痛がでたと仮定しましょう。

①太ると体重が増加→相対的な筋力低下を招く！つまり50kgの人が60kgになれば50kgを支える筋力に+10kg増える状態。

下半身全体が筋力低下すると、股関節が非常に固くなりやすくなります。

これは股関節周囲の筋肉にストレスがかかり筋肉が硬くなり柔軟性がなくなることを意味します。

②図2のようにお腹がでて重心が前方に移るとバランスを保とうと背筋(腰筋)が過度にストレスがかかります。つまり腰の筋肉が疲労することになります。

③お腹がでてくると猫背になりやすくなる。猫背になると肩関節の動きが非常に悪くなります。

①②③を合わせると図3のように腰に圧迫と前方への力と回旋の力が大きくなります。これがヘルニアになる原因の一つと考えられます。

そこで・・・

【 腰痛予防の体操 】

①体重軽減(有酸素運動:20分以上持続する運動)

②股関節周囲(下半身全体のストレッチ)肩関節周囲のストレッチ

③腹筋運動(腹筋と股関節筋の筋力UP)

以上な理由からこれらの運動が大切になります。

※腰痛の原因は様々なので詳しくは当院リハビリテーションスタッフまで

図1

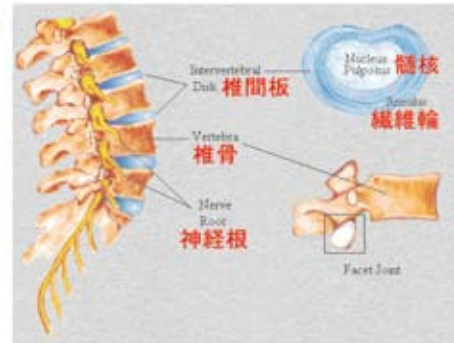


図2



図3



「日本三大火祭り須賀川松明あかし」

松明あかし実行委員会 企画課長 大類 靖

日本三大火祭りのひとつに数えられている須賀川市の「松明あかし」、今年は11月13日(土)に開催されます。

福島病院のシンボルマークはこの松明をイメージしたもので、院内の広報誌のタイトルも「松明」とまさに、松明あかしは福島病院を象徴したものとなっています。

その松明あかしの行事に、昨年からは「本たいまつ」を作製し参加し、今年も昨年に引き続き、11月13日の「松明あかし火祭り」に参加することにしました。「本たいまつ」作製は、9月の「かやかり」から始まり、「たが」作り、「むしろ」の縫い合わせ等の準備作業や、「骨組み作り」、「かやのつめこみ」、「むしろ巻き」そして「飾り縄の取り付け」まで、多くの職員が協力して作業を行い、間もなく完成を迎えようとしています。

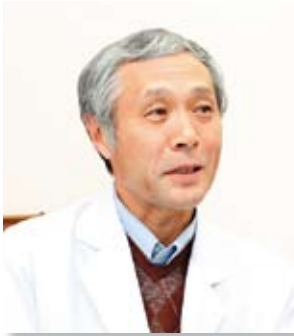
11月6日(土)には、五老山に高さ8メートルの福島病院の本松明がピンクの病院のシンボルと病院名の垂れ幕を掲げてお目見えし、翌7日までは当院を含め、総勢27本の本たいまつが設置され、13日の本番を待ちます。

11月13日(土)午後6時30分には、いよいよ「本たいまつ」の上段に火がつけられ、まつりはクライマックスを迎えます。

わが福島病院の「本たいまつ」が無事に点火し勢いよく燃え続けることを確信しながら、最後の作業に取りかかっています。



●かのめガーデンクリニック● ●診療科 心療内科、精神科、内科、神経内科、リハビリテーション科



かのめガーデンクリニック院長
宗像俊一先生

今回ご紹介するのは「かのめガーデンクリニック」さんです。宗像先生は、平成元年に福島県立医科大学医学部をご卒業され、平成2年からあさかホスピタルに勤務。ささがわホスピタルの院長に就任された後、あさかホスピタルの医局長を務め、平成21年12

月にかのめガーデンクリニックの院長に就任されました。現在も、あさかホスピタルと医療連携を図りながら診療されています。宗像先生は、漢方治療を取り入れており、西洋医学との統合的治療を目指されています。漢方治療は、メンタル面の治療にも適しており、女性や高齢者にも優しく、西洋医学で副作用がある方や、小児のストレス性腹痛などにも効果があるそうです。



- 〒962-0813 須賀川市和田字六軒173
- ☎:0248-72-7211
- 診療時間：

| | 月 | 火 | 水 | 木 | 金 | 土 |
|------------------|---|-------|---|---|---|-------|
| 午前 9:00~12:30 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 午後 2:30~6:00 | ○ | ~5:30 | ○ | ○ | ○ | ~5:00 |

- ※木曜日 鹿目裕文先生の診察になります。
- 休診日：日曜・祝祭日

職場紹介

CE室

CE室 臨床工学技士 渡邊 繁

臨床工学技士（Clinical Engineer：CE）の渡邊です。さてCEとは……

日進月歩、医療機器の性能や機能などは次々と進化し病院に導入されています。このような状況の中、医療現場では患者さんと病院スタッフそして医療機器の間を取り持ち、医学と工学の知識をもつ技術者が必要とされ、1987年に国家資格制度ができCEが誕生しました。

CE業務は「医師の指示の元に呼吸、循環、代謝に関わる生命維持管理装置の操作および保守点検を行うことを業とする」とされています。生命維持管理装置とは、人の呼吸、循環、代謝といったような生命の維持に直接つながる機能を代行したり、補助したりする装置をいいます。この「生命維持管理装置」の操作および保守点検を仕事とするチーム医療の一員として生命維持をサポートしています。



ソーシャルワーカーからちょっと耳よりなお話

ソーシャルワーカー 渡辺 大吾

● 高額療養費制度 ●

長期入院や手術などで、1ヶ月の医療費の自己負担額が高額になる場合、自己負担限度額を超えた部分の払い戻しを受けることができる制度です。ただし、食事療養費・入院時生活療養費、差額ベッド代は対象になりません。

また、限度額適用認定証を事前に申請すると、入院にかかる医療費を、自己負担限度額にとどめることができます。

外来通院時の高額療養費制度の利用は、一度、自己負担分を医療機関窓口で支払ってから、保険者より自己負担額を超えた分の還付を受けるようになります。

《申請先》 各健康保険者（協会けんぽ：健康保険協会、国保：市町村窓口）
《自己負担限度額》

●70歳未満 1ヶ月の自己負担限度額
上位所得者 150,000円+（医療費-500,000円）×1%
<83,400円>
一般 80,100円+（医療費-267,000円）×1%
<44,400円>
低所得者 35,400円
<24,600円>

* <>内は過去12ヶ月に3回以上高額療養費の支給を受け、4回目以降の金額

●70歳以上
現役並所得者 80,100円 +（医療費-267,000円）×1%
<44,400円>
一般 44,400円
低所得者 II 24,600円
I 15,000円

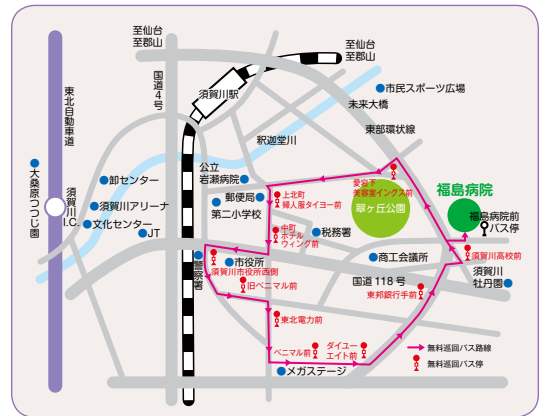
● 外来担当医表 ●

外来担当医は都合により変更となる場合がありますので、ご了承ください。

| 区分 | 月 | 火 | 水 | 木 | 金 |
|----------------------|-------------------|------------------|-----------------|----------------|----------------|
| 内科 1 | 茂木 積雄 | 大戸 斉 | 小杉 茂 | 茂木 積雄 | 茂木 積雄 |
| 内科 2 | | 茂木 積雄 | 山尾 陽子 | | |
| 内科 3 | | | 安藤 登一 | | |
| 神経内科 | | | 齋藤 博 (第2水曜) | | |
| 小児科 | 石井希代子 | 氏家 二郎 | 石井希代子 | 氏家 二郎 | 氏家 二郎 石井希代子 |
| 専門外来※ (発達小児クリニック) | | 氏家 二郎 石井 勉 | | | 河原田 勉 |
| 専門外来※ (小児神経外来) | 平山 恒憲 (第2・4火曜) | | | | |
| 小児専門外来 | 予防接種 (BCG) | | 予防接種 (BCG以外) | | |
| 整形外科 | | | 古川浩三郎 (予約制) | | |
| 産婦人科 (婦人科) | 加藤克彦 | 牛嶋 順子 | 加藤克彦 | 牛嶋 順子 | 加藤克彦 |
| 産婦人科 (産科) | 牛嶋 順子 | 加藤克彦 | 牛嶋 順子 | 加藤克彦 | 牛嶋 順子 |
| 小児心療内科 | | | | | 星野 仁彦 (月1回) |
| 脳神経外科 | | 福島医大 (第2・4火曜) | | | |
| 眼科 | | | | 福島医大 (入院のみ) | |
| 耳鼻咽喉科 | | | | | 福島医大 (入院のみ) |
| 小児外科 | | 福島医大 (伊勢医師) | | 福島医大 (大内医師) | |

内科 予約 外来 (一般内科・消化器・リウマチ・膠原病) 第1・第3土曜日 佐藤由紀夫・小杉 茂

※専門外来(発達小児クリニック・小児神経外来)は午後からの診察となります。



- 外来受付時間は8:30~11:00となっておりますが、急患につきましては随時受付しております。
- 外来担当医表は11月現在のものです。11月以降変更分につきましては、当院ホームページ、院内掲示等をご覧ください。

編集後記

今年も福島病院は、11月13日に行われる「松明明かし」に参加します。須賀川には素敵な催事がたくさんありますね。今回の広報誌「松明」はいかがだったでしょうか。暑かった夏もやっと去ったと思ったら、突然の寒波で一気に冬のよう。皆様、体調には十分にお気を付けください。(編集委員H.O)

Fukushima National Hospital
独立行政法人国立病院機構
福島病院

<http://www.fukushima-hosp.com>

〒962-8507 福島県須賀川市芦田塚13番地
☎0248-75-2131(代表) FAX0248-76-2382



BFH (ベビーフレンドリーホスピタル) 当院は赤ちゃんにやさしい病院を目指しています。



当院は
チャレンジ 25
キャンペーンに
参加しています。